



年賀寄附金って、どんな寄附金？

全国の皆さまに、寄附金付「年賀はがき・年賀切手」をご購入いただくことで寄せられる寄附金です。

日本郵便がお預かりした寄附金は「お年玉付郵便葉書等に関する法律」の規定に基づき、総務大臣の認可のもとに、毎年配分を行っています。

いつから続いているの？

1949年にはじまった年賀寄附金は、今年で70目を迎えました。ご購入いただいた全国の皆さまからの寄附金による配分額は、これまでに合計で約505億円にものぼりました。

集まった寄附金はどうなるの？

社会福祉の増進、青少年の健全育成など、配分の対象となる10の分野の事業を行う団体に対して公募をし、毎年配分を行っています。透明で公正な配分をするために、外部有識者による委員会が、配分する団体や配分金額の審査を実施しています。

配分された寄附金は、どう使われるの？

配分された年賀寄附金は、各団体の様々な活動に役立てられています。年賀寄附金への理解を広げるために、寄附金による活動の実績や購入した機器等による成果を、団体のホームページ・会報、地域の広報誌、マスコミ等のメディアで広く告知していただくようお願いしています。

少額からの寄附活動ができる年賀寄附金は、優しく、力強く、あなたの地域を支えています。

寄附金付「年賀はがき・年賀切手」をご購入いただくことで、気軽に寄附活動に参加することができます。毎年子どもから大人まで、たくさんの方々が意志を持って活動に参加されています。新年のごあいさつには是非、寄附金付「年賀はがき・年賀切手」をご利用ください。



年賀寄附金の詳細はこちら。

<https://www.post.japanpost.jp/kifu/>

年賀寄附金 検索



日本郵便は『寄付月間』の取り組みに賛同しています。

日本郵便株式会社 総務部内 年賀寄附金事務局
〒100-8798 東京都千代田区霞が関一丁目3番2号 TEL.03-3504-4401 / FAX.03-3592-7620
(土・日・休日を除く10:00~12:00及び13:00~17:00)



日本中が、いい年になりますように。



今年も、年賀寄附金の
助成事業募集を始めました。

年賀寄附金で、 笑顔あふれる 社会へ。

申請受付期間

2018年9月10日(月)～同年11月9日(金)

当日消印有効

年賀寄附金は、「社会福祉」「青少年の健全育成」
「がん等の治療・予防」など10の事業分野を対象に
配分助成を実施しています。

配分が決まると、活動支援や施設改修、
機器購入を用途として最高で年額500万円までの
寄附金を助成いたします。

年賀寄附金をあなたの活動にもぜひお役立てください。

2018年度の寄附金配分の概要

配分団体数 175団体／

配分総額 300,701,000円

2018年度の配分団体名と用途内容、

配分金額の詳細は、

こちらをご覧ください。

<https://www.post.japanpost.jp/kifu/>

みなさまからの寄附金はさまざまな活動を支えています。



社会福祉の増進

【具体的助成例】

子ども貧困解消のための
フードバンク事業

LGBTについての
啓発活動事業



青少年健全育成の ための社会教育

【具体的助成例】

不審者から子どもを
守るための
安全講習事業



地球環境の保全

【具体的助成例】

白神山地の
ブナの森を守るための
植林事業



風水害・震災等、 非常災害時の救助・ 災害の予防

【具体的助成例】

海岸防災林再生活動の
ための事業



健康保持増進の ための スポーツ振興

【具体的助成例】

視覚障がい者の
健康増進及び
ヨガ事業



開発途上地域 からの留学生・ 研修生の援護

【具体的助成例】

外国人技能実習生
のための
教育支援事業



交通事故、 水難の 救助・防止

【具体的助成例】

自転車利用者の
安全走行のための
講習事業



がん、結核、 小児まひなどの 研究・治療・予防

【具体的助成例】

糖尿病患者の低血
糖に対処するための
犬の養成事業



原子爆弾の 被爆者への 治療・援護

【具体的助成例】

被爆二世
臨床調査のための
支援事業



文化財の保護

【具体的助成例】

世界文化遺産
三池炭鉱の調査・
啓発事業

※画像はイメージです。